

# 2022年度甲南女子中学校高等学校スクール・ポリシー

## I. 教育目標

### 1. 創立以来の教育方針

(1)〔教育基本法〕教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(2) 本校の教育目標と基本方針

〔建学の精神〕まことの人間をつくる。

〔教育方針〕全人教育 個性尊重 自学創造

〔校訓〕清く 正しく 優しく 強く

〔教育理念〕

#### 1. 中学校・校等学校の使命

建学の理念を基盤に、知性と品格を備え、人生や社会に対して前向きに取り組む自立した女性を育てる。

①人としての教養と常識を基本に 確かな専門知識を養い 社会で活躍できる基礎力を育てる。

②内から輝く個性を磨き 人間愛を持って他に尽くす 思いやりの心を育てる。

③自ら学び考えることで主体性と創造性を育み 実践的な知識・技能・判断力および学術的探究心を育てる。

#### 2. 生徒が目指すべき姿

① 自分自身に誠実であり、他者に対しても誠実なコミュニケーションができる。

② マナーを身につけ、正しいことを貫く意志を持ち、しなやかに対応することができる。

③ 広い視野を持ち、自分と異なるものを理解・受容し、他のために努力することができる。

④ 失敗を恐れず、チャレンジする勇気とパワーを発揮することができる。

### 2. 現在の本校における教育目標の具体化

～「主体的・対話的で深い学び」を通して、

生涯にわたり学習する基盤が培われることを目指す～

生徒につけさせたい4つの力

#### ① 学びに向かう力

どのように社会・世界と関わり、よりよい社会と豊かな人生を築くかを考え、課題を発見し、行動するために学び続ける力

#### ② 知識と技能に裏打ちされた思考力・判断力・コミュニケーション力

世界に溢れる様々な情報から正しいものを見分け、確かな知識を元に考え判断する力

自分の考えを他者に分かりやすく伝えるとともに、他者の気持ちも考えて伝えることができる力

#### ③ 他者と協働できる力

さまざまな場面で、自らの適性や能力に応じて主体的・積極的に役割を果たすことのできる力

#### ④ Society5.0を生き抜く力

英語の4技能すべてにおける高い能力とデジタルツールを使いこなす力をそなえ、変化の激しい世界を自分らしく強い意志と自信を持って生き抜く力

## Ⅱ カリキュラム編成・実施方針

- \* 教科学習と総合学習、課外活動の相乗効果により、上記2①～④の4つの力を身につけさせる事を目標に置いたカリキュラムマネジメントを行う。
- \* スタンダードコースに在籍する生徒が、本校での学校生活6年間で自己を見つめ、将来像を模索し、それぞれの個性と希望に応じた進路選択ができるような教育課程を編成する。
- \* Sアドバンストコースに在籍する生徒が、6年後に入学時からの希望である国立大学に進学することを目標として、5教科の応用力を身につけることができるような教育課程を編成する。
- \* 5教科では中学校課程の内容を早期に終え、中学3年生の早期に高校の内容を学び始めることができるようにカリキュラムを編成する。ただし、スタンダードコースでは基礎学力を確実に身につける事に重点を置き、Sアドバンストコースではスタンダードコースよりも多い授業時間を利用して、応用力を培うことも目標とする。
- \* 本校では総合学習を学びの柱と位置づけ、各教科学習・課外学習と相互に関連付ける事により、生徒の学習意欲を喚起し、進路選択の動機づけとなる事を目指す。そのため、生徒の発達段階に応じた総合学習に加え、総合「探求読書」を各学年に週1時間/1単位置く事により、感性を養い、視野を広げ、読解力を身につけさせる事を目指す。
- \* 各学年・各教科において、知識の習得だけにとどまらず記述力・読解力・表現力を育成することを目的としたループリックを作成して評価基準を定める。

### 1. 基礎期（中学1年～2年）

- ・ 生徒が教科・総合学習・課外活動を通じて本校の教育方針を理解し、充実期・発展期に繋がる基礎学力を身につけることができるようバランスの取れたカリキュラムの作成に努める。
- ・ 総合学習  
中学1年生ではHRの一部と校外学習を利用してアサーション活動を展開する。中学2年生では、週1時間の総合学習「対話」を設定し、平和学習を主題として、教員・生徒・外部講師の間で、意見交換・発表の機会を多く持つように努める。
- ・ 中学1年生のアサーション、中学2年生の「対話」を通じ、道徳の授業内容も意識しながら、上記2②「自分の考えを他者に分かりやすく伝えるとともに、他者の気持ちも考えて伝えることができる力」の醸成を図る。

### 2. 充実期（中学3年～高校1年）

- ・ この時期は、生徒が卒業後の進路について模索を始める期間であることから、進路選択を念頭に置いて進路指導部の計画する行事との関連を意識し、大学受験に必要な学力の基礎を充実させることを目的とする。
- ・ 高い学習意欲を持つ生徒の応用力を向上させる事を目指し、授業はもちろんのこと、長期休業中の講習も念頭に置いて教育課程を編成する。
- ・ 総合学習  
中学3年生には週1時間の総合探求「環境」を設定し、1学年を6講座に分けてSDGsをテーマとして探究学習を行う。  
高校1年生の総合学習は総仕上げとして位置づけ、総合探求「自己探求」を2単位設定する。テーマは中学3年生同様SDGsの17の目標から選んで1学年を6講座に分けて行うが、「対話的で深い学び」の内容・手法をより深化・高度化させる。

### 3. 発展期（高校2年～3年）

- ・スタンダードクラス  
生徒の希望する進路が多様であることから、可能な限り多様な選択科目を設置する。
- ・Sアドバンストクラス  
国公立大学入学に必要な5教科、及び新課程生に対しては情報を加えた6教科の応用力向上を目指し、各教科の授業時間内において受験演習が行えるようにカリキュラムを編成する。
- ・両コースとも受験演習においては、タブレット等を効果的に利用した相互の意見交換を取り入れることを念頭に置いてループリックを作成する。

## Ⅲ. アドミッション・ポリシー

1. 本校の建学の精神である「まことの人間をつくる。」と校訓「清く 正しく 優しく 強く」を理解し、「知性と品格を備え、人生や社会に対して前向きに取り組む自立した女性」へと成長することを目指して積極的に学ぶことを望む生徒を求める。
2. スタンダードコースとSアドバンストコース  
スタンダードコース  
本校の学校生活のあらゆる場面を通じて自分の適性・可能性を探りながら将来の進路を決定したいと考えている生徒を求める。  
Sアドバンストコース  
本校入学時から既に卒業後の国公立大学入学を志し、5教科（6教科）の高い応用力を身につけたいと考えている生徒を求める。